



「2030年度燃費基準80%達成車」
Original (FF)、
Premium (FF)



「2030年度燃費基準75%達成車」
Premium Tourer (FF)、
Original (4WD)、
Premium (4WD)



「2030年度燃費基準70%達成車」
Premium Tourer (4WD)



「平成30年排出ガス基準50%低減レベル」認定車
全タイプ

基礎情報	車両型式		5BA-JG3			5BA-JG4			
	原動機	型式	S07B						
		総排気量(L)	0.658						
	駆動装置	駆動方式		FF			4WD		
変速機		CVT		6MT	CVT				
環境性能情報	燃料消費率*1	JC08モード	燃費 (k m/L)	28.8	25.6	22.0	25.4	23.8	
			CO ₂ 排出量(g/km)	80.6	90.7	105.5	91.4	97.5	
			〈燃費からの換算値〉						
		参考			2030年度燃費基準 80%達成率	2030年度燃費基準 75%達成率	—	2030年度燃費基準 75%達成率	2030年度燃費基準 70%達成率
			WLTCモード	燃費 (k m/L) *2	23.2	21.9	21.6	21.0	19.8
				市街地モード (WLTC-L)	19.5	17.6			18.1
		郊外モード (WLTC-M)		25.2	24.0	22.9	22.3	21.2	
		高速道路モード (WLTC)		23.8	22.9	23.0	21.7	20.8	
	排出ガス	認定基準値 (単位 : g/km)	CO	1.15					
			NMHC	0.05					
			NO _x	0.025					
			PM	—					
		参考	九都県市指定低公害車の基準に適合 (平成30年基準)			—	九都県市指定低公害車の基準に適合 (平成30年基準)		
		適合規制・認定レベル		平成30年排出ガス基準50%低減					
		試験モード		WLTCモード					
		適合騒音規制レベル		平成28年騒音規制 規制値：加速走行68dB (A)					
	エアコン冷媒	種類/GWP値*3	HFO-1234yf/1 *4						
使用量		370g							
車室内VOC		自工会目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)							
環境負荷物質削減	鉛*5	自工会2006年目標達成 (1996年使用量*6の1/10)							
	水銀*7	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*8)							
	六価クロム	自工会目標達成 (2008年1月以降使用禁止)							
	カドミウム	自工会目標達成 (2007年1月以降使用禁止)							
	自工会目標適用除外部品	*5：鉛バッテリー (リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *7：ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯 (交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)							
	環境への取り組み	リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	100g以上の樹脂部品全て					
環境負荷物質使用状況等	リサイクル	リサイクルし易い材料*9を使用した部品	ウインドウモール、ウォッシャーチューブ、エアフローチューブ、エンジンハーネス、カウルトップガーニッシュ、グローブボックス、サンバイザー、センターコンソール、ドアライニング、バンパーフェース、ピラーガーニッシュなどの内外装部品						
		再生材を使用している部品	—						
		リサイクル可能率	車全体で95%以上 *10						
		環境負荷物質使用状況等	鉛	使用部品：塩ビ・ゴム部品、圧電素子等(PZTセンサー)					
	水銀		全廃済み						
	六価クロム		全廃済み						
	カドミウム		全廃済み						
その他	グリーン購入法適合状況	—							

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。

*2 WLTCモード：市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード：信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード：信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード：高速道路等での走行を想定。

*3 GWP：Global Warming Potential（地球温暖化係数）

*4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下（対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値）にすることを求められています。

*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g（バッテリーを除く）。

*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。

*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。

*8 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン（1998年 自工会）」に基づき算出。

*9 この環境仕様書は2025年11月現在のものです。